

# イチロー だより

2021年  
10月発行

vol.2

本田一郎事務所

〒808-0103

北九州市若松区二島1丁目3-25

TEL.FAX 093-701-5543

✉ ichiro\_honda@aioros.ocn.ne.jp



## 北九州市議会9月定例会

### 【一般質問】

北九州・若松を愛する会 本田一郎  
2021年9月13日(月曜日)15時〜

### 【質問テーマ】

#### ① コロナ禍における 観光業支援について

- ・観光産業等に対する支援について
- ・コロナ後の支援策について
- ・宿泊税を活用した支援について

#### ② 体験型観光について

- ・体験型観光に対する市の支援について

### 「コロナ禍における 観光業支援について」

① 新型コロナウイルスの感染拡大により逼迫を受けている観光業全般に対して市はどのような独自の支援を行っているかお聞かせください。

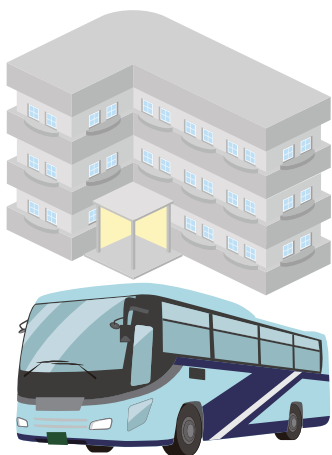
② ワクチン接種や治療薬の開発により、コロナ対策が進んでいき、緊急事態宣言やまん延防止対策が解除されれば、日常を取り戻すためにも思い切った観光産業支援を行う必要があります。コロナ後の支援策について検討すべきと考えますが見解を伺います。

③ 令和2年度決算では、宿泊税の収入が1億7,800万円とお聞きしています。宿泊事業者も大変厳しい状況のなか、がんばって営業を続けています。市民の皆様からいただいた宿泊税が宿泊事業者のためにも使われるよう、宿泊税を活用した支援策が必要と思いますが、見解を伺います。

市長より大変よい答弁を頂きました。

新型コロナウイルス感染症より余暇の過ごし方も変化している。

マイクロツーリズム(少人数・近場で過ごす)、ワーケーション(仕事と休暇を一緒に



する)など新たな観光ニーズが出ている。まずは、新型コロナウイルス感染症拡大防止を抑止することに全力で取り組み、成果を上げる。

その後、観光産業が元気を取り戻すことに力いっぱい支援できるように、今からアフターコロナを見据えた取り組みを研究・調査していく。

### 産業経済局長からの答弁

#### 【宿泊税の使い道について】

令和2年度宿泊税収入 1億7800万円

- ・北九州観光PR展開事業
- ・小倉城周辺歴史文化観光磨き上げ事業
- ・皿倉山プレミアム夜景事業
- ・観光案内機能強化事業
- ・宿泊施設等改修事業
- ・令和3年度宿泊税収入予定 3億1300万円
- ・宿泊予約サイトを活用した宿泊選定事業
- ・宿泊施設等改修事業
- ・旅行商品要請助成事業

### 「体験型観光について」

体験型観光とは見遊山的な観光旅行ではなく、その地域でしか体験できない要素を取り入れた旅行の形態で、身をもって経験できる味わいがあります。「見て楽しむ」から「体験して楽しむ」へ、ここ数年で観光のトレンドも変わってきた印象があります。

都市部から郊外の農村部までを抱える北九州市は、体験型観光の推進を図っていくにあたって、まさに適している都市だと思います。

今回、私は若松区において、すでに体験可能な事業者がいますので、何件かご紹介させていただきます。



SDGSに取組むアグリゾート農園、子供に食べさせたい野菜を皆でシェアする会員の農園で有ります。ここではアグリゾートツアーを楽しめる。水にこだわり、有機栽培、無農薬、で栽培された三反の農園見学や代表者による安全で高品質な野菜の栽培と、それに適した農園の環境づくりに、消費者自らも参加して、共同所有(シェア)する仕組み。

農家と消費者が手を取り合い、子どもたちの健康と未来のために、信頼関係に基づいた「農」コミュニティを形成等の講演が可能である。

次に自家栽培の水切りブルーベリーを使ったブルーベリーソフトクリームで認知された田中農園では、約3万平方メートルの土地でキャベツ、スイカ、大根、カボチャ等多くの農産物を栽培しています。又「響灘ホップの会」会員として「HIBIKI FRESH HOPS 若松エール」の原料である